



本郷台小 だより

6月 
横浜市立本郷台小学校
令和5年5月31日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ： <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>



みんなちがって みんないい

校長 原 南実子

「はまみらい」がたくさん花を咲かせています。横浜開港150周年を記念してつくられ、名付けられたこの薔薇は、優しいサーモンピンク色をしています。香りもとてもやさしく、においをかいだ子ども達も思わず「いいにおい！」と笑顔になります。子ども達の健やかな成長と一人ひとりの未来への希望を願って名付けられたはまみらいを見ながら、改めて一人ひとりの子ども達の成長と幸せを想う今日この頃です。

先日、4年生の上郷宿泊体験学習に引率で行ってきました。体験学習は初めての4年生。たった2日間でしたが、その中で、お互い声をかけながら気付きを促し合い、皆でまとまって自分たちの活動を創っていく、という動きが活動毎に目に見えて早くなり、皆でその場や時間をよりよいものに創り上げるという意識が徐々に高まっていくのを感じました。「皆で創り上げる」という喜びや嬉しさ、楽しさは、子ども達の心に大きな学びとなって刻まれたと思います。

と同時に感じたことがもう一つ。それは、一人ひとりがお互いを認め合っている姿のすばらしさでした。今回の活動の中に、「上郷図鑑をつくらう」というものがありました。上郷の自然とふれあいながら行う活動です。一人ひとりが、自分が素敵だな、と思った水の生き物・植物・虫を見つけて、細かく観察しながら絵や文に表しました。上郷に行く前に、学習支援者として来てくださった自然のプロフェッショナル山田陽治さんに、「目、耳、鼻、口（味：今回はこれはなし）触る、という事を通してじっくり自分が見つけたものと向き合ってください。いろいろなものがわかってくるよ。一人ひとりが見つけたものが一人ひとりの宝物だよ。」という事を教えてもらっていた4年生は、一人ひとり、自分が面白い、と思ったものを探し、選び、じっくり向き合い、感性を働かせて観察し、気付いたことや考えたことを記していきました。それが実に多様性があるのです。一人ひとり、みな違うのです。一人ひとりが、自分はこう感じた、こう考えた、こうかきたいと思ったことを表現しているのです。誰かの真似をする、ではない、お手本通りに書く、でもない、自分らしく表現している姿は実に楽しそうで生き生きとしており、深い観察へとつながっていました。自分らしさを発揮することで生まれるパワーの何と力強いことか。それと同時に、近くの子と見せ合いながら、「いいじゃん、すごいね」「ここを大きくかいたんだ。いいね！」などなど、お互いに認め合っている姿もたくさん見られたのでした。それぞれの考えや思い、自分との違いを受け止め、認める姿に、4年生の心の成長を感じました。多様性を認めることによって学びも広がる、そんな様相も見えました。

金子みすゞの詩に「みんなちがって みんないい」という詩があります。「あなたはあなたでいい」と語りかけている詩です。そしてもう一つ。みんな違っていい、という多様性を認め合うまなざしの大切さを語りかけている詩でもあります。人を思いやる優しさは、一人ひとりを受け止め、尊重するということが根っこなのかもしれません。

先日の朝会でこの詩を子ども達に紹介しました。各教室に掲示してある一人ひとりの自己紹介は、好きな事や得意なことがみんな違って、みんな素敵です。一人ひとりが自分らしく自己発揮できる、そんな優しさのあふれる台小を、子ども、大人皆でつくりあげていきたいと思っています。

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面（じべた）を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ